

## 保育防災アクションマスター認定講座とは

### なぜ「保育防災認定講座」なのか

巨大地震や豪雨災害の頻発など、今や災害列島化した我が国においては、保育施設における防災対策は待たないです。

しかしながら、そもそも多くの幼児(少)期の子どもたちを預かっている保育施設では、通常の防災対策は通用しません。実効性のある対策としては、それぞれの施設に、いわゆる「保育防災リーダー」を配置し、リーダーが中心になって園全体で施設独自の防災の仕組みづくりと防災意識を高めることに取り組むことでしか実現できないと考えます。

### 「保育防災アクションマスター認定講座」の設立

そのような状況を踏まえ、JP子どもの森づくり運動(特別協賛:日本郵政グループ)では、2020年に、消防庁防災アドバイザー鎌田修広氏(株式会社タフ・ジャパン代表取締役)と共に、保育施設に特化した防災のスキルと高い防災マインドを持つ「保育防災リーダー」の養成を目指す「保育防災アクションマスター認定講座」の仕組みづくりに取り組み、2021年から認定講座の運営を開始しました。

### 認定講座の特徴


- 一般的な防災のスキルを学ぶだけの講座ではなく、受講園それぞれの事情に応じた実効性ある防災活動の仕組みづくりを目指す実践講座です。
- 防災活動の実効性を確保するために、講座の教材として他園における優れた防災活動事例を積極的に活用します。

「保育防災アクションマスター」に求められるのは、なによりも、  
**“災害時に子どもの運命を変えるのはわたしたちだ!”**という強い決意です。  
単に役職として務めるのではなく、高い防災意識を持って、自ら率先して動いていただかねばなりません。  
だから**「防災“アクション”マスター」**なのです。今回の取り組みが、  
「保育防災」の普及、及び保育のあらたな価値向上に少しでも役立つことを願っています。

## 講座概要

- 運営: NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(子森ネット)
- 運営協力: 株式会社タフ・ジャパン
- 特別協賛: 日本郵政グループ
- 協力: 全国私立保育園連盟 大谷保育協会 子ども環境研究所「ギビングツリー」他
- 実施概要
  - 運営期間: 4月~翌年3月
  - 募集人数: 各園2名までを資格認定対象者として上限12園(24名)を募集(先着順)
  - 講座内容: 講座は、消防庁防災アドバイザー鎌田修広氏(株式会社タフ・ジャパン代表取締役)による、原則、年6回のOnlineによるワークショップ形式(WS)形式で進行されます。
  - 資格認定: 保育防災アクションマスター、及び認定園の資格認定(証)は、JP子どもの森づくり運動「保育防災アクションマスター認定委員会」(委員長: 鎌田修広氏)によって認定されます。(※注)
  - 受講料: 3万円(税別・年間/園)  
\*各園2名までを資格認定対象者として。 (リモート講座には何人でも参加できます。)
  - 受講申し込み方法: 別紙申込み用紙にご記入の上、子森ネットまでお申込み下さい。

## 講座概要

1. 講師	<p>● 鎌田 修広(のぶひろ)氏 消防庁防災アドバイザー 株式会社タフ・ジャパン代表取締役</p> <p>・1969年3月27日生まれ</p> <p>・消防局勤務18年間の半分は体育教官として消防職員の人材育成等に従事。退職後は、災害に強い人づくり・まちづくりの実現を目指し、全国各地に年間約200回出張中。</p> <p>・JP子どもの森づくり運動が取り組む「保育防災」のアドバイザーとして、『本当に、子どもの命を守る』をテーマに、保育施設に特化した防災・減災の仕組みづくりと「災害時相互支援協力協定」のネットワークづくりに取り組んでいる。</p>	
2. 講座回数	研修講座は、原則、年6回、ZOOMによるリモートでのワークショップ形式(以下、WS)で実施します。必要に応じて、講師による出張講座にも対応します。	
3. 講座内容	<p>1) WSは、主に以下のカテゴリーに沿って進行されます。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>事前準備・初動体制</li><li>情報収集・安否確認</li><li>消火・救助救出・応急救護</li><li>避難訓練</li><li>地域や保護者との連携</li><li>食料等の備蓄</li></ol> <p>2) WSは、参加園それぞれが、各カテゴリーごとに自園における防災活動の優先課題を設定し、課題を解決する方法や取り組みを園全体で協議し、結果を発表するという実践的な内容で進行されます。</p> <p>WSを通じて、自園の防災活動における課題を見出し、園全体で共有していただきます。 *上記カテゴリーは変更される場合があります。</p>	
4. 防災動画	保育者にとって、もっとも参考になるのは他園における優れた防災活動事例です。参加園から保育防災活動動画を募集し、講座の教材として活用します。	

### (\*注) JP子どもの森づくり運動「保育防災アクションマスター」認定委員会

委員長: 鎌田修広(消防庁防災アドバイザー/タフ・ジャパン代表) 代表: 塚原茂(防災士/子森ネット代表理事) 他、防災関係者と保育関係者によって構成されている。保育防災アクションマスターに「認証状」と「認定バッジ」を、保育防災アクションマスターによる防災活動に取り組んでいる園に「認定状」を発行している。(以下、イメージ)

